

2020年ハトマークグループビジョンを策定し、 会員のみなさまの経営基盤の強化・ 業務支援を積極的に展開



公益社団法人 全国宅地建物取引業協会連合会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会
会長 伊藤 博



このたびの定時総会にて引き続き会長に選任されました伊藤でございます。

会長就任にあたり一言ご挨拶を述べさせていただきます。

ご承知のとおり、昨今のわが国の経済は、世界経済と国際金融市場の不透明感から株安・円高傾向にあり、依然として景況感は「足踏み」状態にあります。

不動産業界においても少子高齢化時代を反映し、空き家・既存住宅流通活性化は喫緊の課題であります。特に今回の宅建業法改正に対応したインスペクション・既存住宅瑕疵保険については、早速、周知徹底を図るためガイドブックの作成に取り組むとともに、ハトマーク支援機構を通じたインスペクション業者の活用へ傾注していく所存です。

同じく業法改正にて、全宅連に対し従業者への体系的な研修実施の努力義務が課せられるとともに、全宅保証から一定の助成を行うことができるようになりました。これを機に不動産キャリアパーソンさらなる普及促進ならびに専門知識の習得のための体系的な研修制度について検討します。

また、同法改正により弁済業務の対象から宅建業者が適用除外となるため、全宅保証においても引き続き各都道府県本部を通じた研修によりコンプライアンス等の徹底を図る所存であります。

来たる平成29年度は全宅連創立50周年・全宅保証創立45周年を迎えます。これを節目に2020年ハトマークグループビジョンを策定し、ビジョンの具体化に向けた道筋を明確化し、各都道府県協会ビジョンの策定支援を行うとともに、全宅管理・ハトマーク支援機構と連携し、会員のみなさまの経営基盤の強化・業務支援を積極的に展開してまいります。

会員各位におかれましては厳しい事業環境ではありますが、引き続きご支援をお願いし、就任の挨拶といたします。